



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

3

2009, MARCH

第1802回例会

平成21年3月19日



会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



2009年3月

識字率向上月間

会 長	越智 孝佳	広報委員長	久保 且佳
副 会 長	太田 万也	広報副委員長	堂山 啓太
副 会 長	神田 龍一	委 員	安原 明彦
幹 事	石原 英樹	委 員	飯田 正行
会 計	高田 晃一	委 員	横田 幸宏
S A A	佐々木和彦	委 員	上垣香世子

エコキャップの回収に協力して下さい

世界の子どもたちにワクチンを届けよう!



会長報告

会長 越智 孝佳



皆さん、こんにちは。会長報告を申し上げます。

昨日、WBCの韓国戦で日本は負けましたが、非常に悔しい思いをしております。日本とサムライが一度に二度負けたような気分です。今も、キューバと敗者復活戦をやっている最中ですが、ぜひもう一度這い上がってもらいたいものです。昨今の重苦しい経済状況を、気分的にも吹き飛ばし、元気を与えてもらえればと期待したいところです。ただ、今は例会中でございますので、こちらの方に集中を宜しくお願いします。

話は変わりますが、先週の土、日と旭川で開催されました来年度に向けての地区チーム研修セミナーへ視察に行っていました。地区研修セミナーとは、次年度の地区委員長の顔合わせと研修会でございます。約50名程の参加者によって開催されております。旭川の対応は、約20名余りのスタッフで運営されておりました。決して地区の行事の中では大きな集まりではありませんが、それでもクラブを挙げての対応となっております。4月のPETS、地区協議会は500名以上の参加規模となりますので、総力でクラブも対応に入ります。

このお話しをするのも、来年の今頃は正しく我々がその当事者になるわけです。少しずつでも皆さんに情報提供を致しますので、イメージを作って頂き、心の準備をしてもらえればと思います。ガバナー一人でも、事務局でも一年の運営はままなりません。ぜひ皆さんのお力を頂きたいと思っております。

最後になりますが、今回の視察での収穫は、旭川東RCの主だったガバナー事務局の人達と交流を持てた事です。非常に友好的に迎えて頂きました。今後、色々と情報を頂けると云う事ですから、心強いと思います。この一点も皆さんにご報告致しまして、本日の会長報告といたします。ありがとうございました。

たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

出席状況報告

月/日	2/5	2/18	2/26
例 会	1797回	1798回	1799回
総会員数	70名	70名	70名
計算に用いる 全員数	64名	64名	64名
ホームクラブ出席	48名	43名	42名
メークアップ総員	11名	16名	17名
欠 席 者	5名	5名	5名
出 席 率	92.2%	92.2%	92.2%

今月の主な行事

- 3月 5日 誕生・結婚祝
- 12日
- 19日
- 26日 創立記念夜間例会



点鐘

開会宣言

ロータリーソング (我等の生業)

ゲスト紹介

ばんえい競馬調教師 谷 あゆみ 様

本日のゲストの谷あゆみ様を御紹介申し上げます。

奈良県出身でございます。子供の頃より、絵を描くのが大変好きで、絵の勉強をするか、大動物の勉強をするかで悩まれた末、動物を飼いながら絵を描き続けるということで、北海道の方へ来られております。

1988年に帯広畜産大学を御卒業され、浦河町の谷川牧場に就職をされております。

1993年にばんえい競馬の厩務員となり、2006年ばんえい史上初の女性調教師となられて

おります。2008年内閣府男女平等参画の女性チャレンジ賞を受賞されております。

後ほどお話を伺いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(会食)

会長報告

会務報告

石原英樹幹事

①帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成21年3月26日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

②・帯広北RC、3月20日(金)は祝日のため休会と

致します。

・帯広南RC、3月30日(月)は休会と致します。

・帯広東RC、3月31日(火)は休会と致します。

③今月のロータリーレートは、98円です。

山本範之次年度幹事

次年度、ロータリー事務局員の公募をします。

プログラム

プログラム委員会

ばんえい競馬調教師 谷 あゆみ 様

「馬の日々」

初めまして。ただいま御紹介いただきました谷あゆみです。ばんえい競馬で調教師をしています。慣れないもので虎の巻を見ながらさせていただきます。

今日は、先ほどご紹介いただきましたように、馬の日々ということで、私と馬との関わりを通して馬の魅力やばんえい競馬の魅力を感じていただきたいと思っております。

私の話はおぼつかないと思いますので、自分で撮った写真ですが、競馬場の風景を観光客の方に見て頂きたいと思いつつ撮影をしました。見ていただき、十勝の風物詩として観光用にでも使って頂きたいと思っております。なにぶんお話しさせていたたくのは、ほとんど皆無みないなもので、聞きづらいこともあると思えますが宜しくお願いいたします。

最初に私の職業の調教師というのは何だろうという事でお話させていただきます。十勝だけに限らず、公営競馬で走っている馬はすべて馬主登録されている馬主のもので、馬主が直接競馬場に連れてきて主催者、ばんえい競馬でいうと帯広市と直接契約して出走させる事はできなく、馬主と主催者との間にたって、馬の出走に関する諸手続きや馬の使用管理などを代行するのが調教師の仕事となっています。競馬場で言うと調教師は表だったところには出てこなく、レースの馬を引いているのは厩務員といえます。厩務員というのは調教師が契約した従業員さんで調教師が預かっている馬の世話を調教師と一緒に面倒見るのが仕事です。レースに行きますと騎手がおります。騎手は調教師と契約し、レースにでます。このような感じで、職場が成り立っています。

調教師は毎年行われる資格試験で免許証をいただき、帯広市と契約しています。小さいのですが企業主です。競馬場というのは、競馬に限らず馬の社会というのは、未だまだ男性主体の世界で女性の職場としては厳しい世界です。ですから女性調教師は日本では4人しかいないのです。また北海道では初めてということで、かなり特異な存在でした。調教師として開業した年に皆さんもご存知だと思いますが、ばんえい競馬存続問題があり、調教師として色んなところから取材がありました。つぶれるかつぶれないかの話があり、コマーシャルになるといいな～と思いついていましたが、実際に存続廃止問題が起きてきた時には取材を受けたメディアに向かって、こっから動きかけて、ばんえい存続になるように訴えました。

テレビ・新聞・インターネット街頭署名等でばんえい競馬を守りたい、大きな輪の仕事を守りたい。それに賛同してくれる全国の仲間とともに勝ち取ったばんえい競馬存続。その時の活動やがんばりを、先程会長さんにも紹介していただきましたけれども、昨年2月には道庁で、6月には総理大臣官邸で男女共同参画の輝く女性のチャレンジ賞を受賞させていただきました。

生まれも育ちも奈良県で東大寺の大仏殿や正倉院を眺めながら鹿と一緒に育ちました。このような私がかげ、馬の日々を送るようになったのかをお話しします。私は丙午年生まれで、よく亭主食い殺すとかいわれていて、まだ結婚はしていません。小さい頃ですが、画用紙に何か書こうと考えていると、うちの親が丙午年生まれだから、馬を書いたらいいわ、それから馬ばかり書いていました。馬の絵を書くのが自分の仕事と思ったのでしょうか、物心着いた頃には馬ばかり書いていたのを思い出します。小学校の頃作文集に載せる絵も馬でした。友達にいわれたら鼻高くして馬の絵を描いていました。でも奈良県には馬はいないのです。図鑑とか挿絵の本を見たりしてそのまま馬が好きになりました。このときから馬の道を走り始めたのですね。

大学進学に関しては絵を描くのも選択肢でした。でも弟が2人いたので進学のことを考えるとお金かかる美術大学には行けない悩みました。当時は共通1次だったのです。私の家は余裕がないので国立大1本で行きました。輪切りの結果が琉球大学が畜産大学でした。最終的には動物が好きで触りたいので畜産大学に決めました。

大学卒業後、現在浦河町長をされている谷川浩一郎さんの処に就職し、

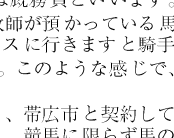
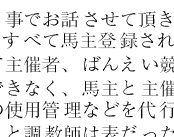
越智孝佳会長

佐々木和彦SAA

越智孝佳会長

越智孝佳会長

越智孝佳会長



馬にまみれた生活になりました。最初の1年繁殖牝馬のやさしい子どもの面倒をみさせていただきました。その頃、私を一筋縄ではいかないと思っていいたらしく、しゅう場所にまわされました。馬の社会では一番の厳しい仕事です。仕事が厳しいのではなく、馬が厳しいのです。例えば育成とか繁殖は、もっとも厳しい仕事なのです。しゅう場所というのは馬自体が、おれは男と思っている馬ばかりなので、やるか、やられるかの世界です。大学を卒業してすぐにしゅう場所に回されるなんてサラブレッドの世界では、大冒険だそうなんです。そこで4年半シンザンのお世話させていただきました。シンザンは国の宝とも言われまして、ずっとシンザンをこえるのを目標にされるぐらいの馬であり、じかに側にいて生活をする素晴らしい馬で普通馬と違ってオーラがありました。いろんなことを教わりました。馬を触る時が大切か、こんな時は何の本を読んだらいいか、いろんなことを教えてくれて、馬の師匠はシンザンと言いつけるぐらいです。今ここで大きく願って生きていられるのもシンザンに会えたからと感謝しています。

此のころ友人の結婚式で帯広に来ました。丁度、競馬開催されていました。時間があるので始めて、見にいきました。馬がそりを引っ張るレースにとりつかれました。学生の頃の私の頭には、ギャンブルの方程式はありませんでした。競馬なんてイメージが悪い。まして、そりをひかせるなんて、いまならそんなことを言う人に対して、カチンとくると思うのですが…サラブレッドの所で働いたことで競馬の意識がかわりました。馬がそりを引っ張り、仕事している。それがすごいことと思え、新鮮に見えカルチャーショックをうけました。できればこんな仕事したいと脳にインプットされました。それから浦河からは、車に乗れるだけの人数を引っ張って、ばんえい競馬をみに旭川や岩見沢や帯広に通いましたね。6回7回は通いましたね。帯広は特に3月に、今は12月の終わり頃に農林水産大臣賞、一番大きいばんえい競馬ありまして、今はばんえい記念の名前で今年は3月29日にあり、だいたい1020キロから30キロ級の馬が1000キロの荷物をせて200メートルの障害を乗り越えて走る。今はもう結構メジャーになって、九州からお客さんがそれを見るためにきて、感動し涙流す人もいます。

ばんばに興味を持つようになった頃はいろいろと諸事情がありまして、牧場をやめようかなあ思いはじめました。それまでは人間関係のドロドロしたことを知らないでずっときて、今思えば温室育ちのあまちゃん者の生活していたのだと思えました。競馬場の厩舎がすごく恐ろしいというか厳しい場所でした。やはり直接の勝負が絡んでくるし、お金管理も大変で馬主の獲得で、裏工作があり、すごく厳しい世界を教えてもらいました。保守的で男性社会で独り者の女の私には、風当たりが厳しくなり、酔って言い寄ってくる人もいます。ただ、ここで負けるのは悔しいし、大きい馬は好きだし苦しかったですね。仕事で認められるしかないの、ばんえい競馬に努める様になりました。まあ最近ですが、調教師になって3年間たって認められてきました。奈良県からきた根っこを生えてない浮草みたいで、人間関係の構築にはすごくハンデをもっていますので、今は頑張るしかないと思っております。

ばんばの生産者は何代も続く義理人情の世界でなかなか入り込めないのが現状です。調教師として認められつつ、でも所詮まだまだ状態の私なのです。なかなか難しく大変で、信頼関係も真心も時間をかけて作りあげたいです。信頼関係が、明日の私たちの生活、収入にかかわってくるのです。信頼関係がないと馬の死産とか見栄で馬を持っている人は、だんだん離れていく傾向がありますが、逆に、馬が好きでたまらない人達は、稼がなくとも大事に大事に育てておられます。

馬が好きで、ばんえい競馬が好きだと思っている人と一緒になって、ばんえい競馬を守りたいときに、話がでてくるのが、動物虐待いう言葉があります。このなかには、そりを引っ張らせてムチでヒョクタク事はいかにそうでやめちまえと思っているかもしれません。でもちょっと考えてみて下さい。バタと違って、馬は人と仕事をしながら反映してきた家畜なのです。それでレースでそりを引っ張るのが彼らの仕事なのです。仕事なのに取り上げてどうするの？肉として生産するために、生き残って来た訳でないのだから、動物虐待の話ではないと思います。例えば、昔、私が育てた馬の話なのですが、雪が降るとそりが異常に滑ります。危ないので練習が出来ないため、ブラッシングをしてあげます。いつもはレースの前にはブラッシングをするのです。雪がやみ練習のため坂を上り、右に曲がるとレース場、左に曲がると運動場なのですが馬はレースがないのに右に曲がりレース場に行く走り。馬としては走らせるといいたいように。ブラッシングに綺麗にしてもらうと馬は、レースが仕事と思ったでしょう。馬も人間も嫌な所にはいきたくないと思うのです。面白い仕事と思うからそっこのレース場に行くことなのでしょう。馬と仕事する自分だから感じることで、知らない人には理解できないかもしれませんが。

健康保護するセミナーの話ですが、その中の一つとして、馬はレースにでる事に対してストレスを感じているか、畜産大学でしらべたことです。五頭馬で、体につけた心電図実験とポイントポイントで高血圧検査と分泌力、心拍をしらべるため普段と同じように厩舎出てレースと同じようにそりで障害物を引っ張り調べました。結果3頭に過剰なストレスを感じてないっていう数値が出たのです。ばんばを知らない人たちにも理解していただける反応でした。数字でレースは動物虐待に当てはまらないと表わされたことで、馬は仕事を仕事と意識してこなしている事に、すごいと私達は思うのです。動物虐待はこういうことですので、今までの様に見に行っていた方がいいです。

騎手と馬とかかわっている人間の信頼関係を見ていただくと楽しいかなと思います。

厩舎でも見た方は私に連絡いただければ、案内させていただきます。レースだけでなく生の顔を見に来て下さい。

それと馬券を買って儲けてください。よかつたら馬主になってほしいです。馬は月に2回走ります。1回3万円稼ぎますよ。何人か1頭の馬主になり1回飲みに行くのを我慢すればなれます。資料はお手元の袋に入っています。ハンドブックもはいていますので、ぜひ見て下さい。

そうです前日に話した3月29日の11レースですが、だいたい4時半から5時くらいになりますが帯広競馬場が大入り満員になります。それとお金がかかっているレースで馬券買って、ピリの馬の応援をすることがあります。それがばんえい競馬です。ぜひ見ましょう。その魅力、優雅さをぜひ拝見してもらいたいなあとと思って招待券も2枚入れてあります。よろしく願いします。

閉会宣言

点鐘

佐々木和彦SAA

越智孝佳会長